

インフルエンザ(2026 年第 3 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 3 週の定点当たり報告数は 11.33 (患者報告数 43,027) となり、前週の定点当たり報告数 10.54 よりも増加した。都道府県別では宮崎県 (30.75)、鹿児島県 (27.98)、大分県 (21.43)、沖縄県 (19.78)、愛媛県 (19.43)、佐賀県 (19.08)、長崎県 (18.53)、福岡県 (18.45)、高知県 (18.26)、熊本県 (16.54) の順となった。全国 47 都道府県中、32 都道府県では前週の報告数よりも増加し、15 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 844 例であり、前週 (1,081 例) から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満 (30 例)、1～4 歳 (81 例)、5～9 歳 (71 例)、10 代 (43 例)、20 代 (21 例)、30 代 (13 例)、40 代 (16 例)、50 代 (37 例)、60 代 (72 例)、70 代 (134 例)、80 歳以上 (326 例) であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間 (2025 年第 51 週～2026 年第 3 週) では、AH3 亜型が 208 件 (89%)、B 型が 25 件 (11%)、AH1pdm09 が 2 件 (1%) の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト (<https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>) を参照されたい。